

2018年10月26日

各位

会社名 株式会社 イグニス
 代表者名 代表取締役社長 錢 鋨
 (コード番号: 3689 東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員 CFO 松本 智仁
 (TEL. 03-6408-6820)

子会社パルス株式会社と株式会社ジャストプロとの合弁会社設立に関するお知らせ

当社は、2018年10月26日開催の取締役会において、子会社のパルス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 錢鋨、以下「パルス」）と株式会社ジャストプロ（本社：東京都港区、代表取締役 寺井禎浩、以下「ジャストプロ」）が合弁会社を設立することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合弁会社設立の理由

イグニスは「次のあたりまえを創る。何度でも」というミッションを掲げ、現在、事業の多面展開を行い継続的な収益成長と企業価値向上に努めております。

そのような中で、最先端技術であるVR技術に着目し、当社子会社のパルスにおいてVR事業に注力しております。

このパルスではVR技術を活用した、これまでにないエンターテインメントを実現すべくVirtual Live Platform「INSPIX」（以下「INSPIX」）の開発と、そのプラットフォーム上でパフォーマンスを展開するヴァーチャルタレント等のIP創出を行っております。この「INSPIX」を拡大していくためには、有力なパフォーマーが必要と考えております。このようなことから、ジャストプロが有する「タレントプロダクション・コンテンツプロデュース・ライセンス管理」のノウハウと、パルスが有する「VRコンテンツ制作の技術力」を融合し、魅力的なヴァーチャルタレント等の創出、プロデュースを目的として株式会社ミラクルプロを設立いたします。

2. 合弁会社の概要

名称	株式会社ミラクルプロ
所在地	東京都台東区
代表者	代表取締役 高平晴誉
事業内容	ヴァーチャルタレントのマネジメント・企画・運営等
資本金	10,000,000円
設立年月日	2018年11月中旬（予定）
決算期	9月
出資比率	ジャストプロ（50%）、パルス（50%）

3. 共同出資者の概要

名称	株式会社ジャストプロ	
所在地	東京都港区	
代表者	代表取締役 寺井禎浩	
事業内容	タレントプロダクション・イベント営業・宣伝 アニメーション制作・ライセンス管理	
資本金	10,000,000円	
設立年月日	2012年4月11日	
上場会社と当該会社との間の関係	資本関係：	該当事項はございません。
	人的関係：	該当事項はございません。
	取引関係：	該当事項はございません。
	関連当事者への該当状況：	該当事項はございません。
URL	http://www.just-pro.jp/	

4. パルス株式会社の概要

名称	パルス株式会社	
所在地	東京都渋谷区	
代表者	代表取締役 錢鋳	
事業内容	VR コンテンツの企画・開発・運営	
資本金	1,050,000円	
株主構成	株式会社イグニス、秋元康、松尾豊、DaiGo等	
設立年月日	2016年11月4日	
上場会社と当該会社との間の関係	資本関係：	当社の所有割合が過半数以上となる連結子会社に該当します。
	人的関係：	当社代表取締役社長が当該会社の代表取締役を兼任しております。
	取引関係：	当社は当該会社に経営指導を行っており、営業上の取引関係もあります。
	関連当事者への該当状況：	当社代表取締役社長が当該会社の代表取締役を兼任しており、当該会社は当社の連結子会社に該当します。
URL	https://pulse227.com/	

5. 今後の展開

ミラクルプロにおいては、パルスが展開するVirtual Live Platform「INSPIX」で活躍していくIP（ヴァーチャルタレント等）創出、プロデュースを行ってまいります。

なお、このミラクルプロを通じて展開されるにIPに関しましては、2018年8月10日発表の「2018年9月期第3四半期決算説明資料」のP.21にて、VRのIP創出プロジェクトの「第3弾 プロジェクトB」と掲げていたものを想定しております。

IP創出プロジェクトの詳細のお披露目については、現在調整を進めております。

現時点でご案内できる構想といたしましては、既存のIPを活用するのではなく新たにIPを生み出す予定であり、ジャンルは女性キャラクターとしての展開になる予定です。その他、提供時期やプロデュースの詳細は続報をお待ちください。

6. 日程

当社取締役会決議日	2018年10月26日
パルスとの合弁契約締結日	2018年11月上旬（予定）
合弁会社設立日	2018年11月中旬（予定）

7. 今後の見通し

当該合弁会社設立が、2018年9月期の連結業績に与える影響はありませんが、中長期的に当社グループの業績向上に資するものと考えております。また、2019年9月期の連結業績に与える影響は2018年11月に開示予定の連結業績予想に織り込む予定であります。

以上